1 経済・経営

第 1-20 表 時間当たり労働生産性上昇率

Table 1-20: Labour productivity (GDP per hour worked), annual growth rates

	2005年	2010	2015	2017	2018	2019	2020	2021	
									%
日本	1.7	3.1	2.0	0.9	0.6	1.0	1.2	—	JPN
アメリカ	2.1	2.6	0.6	1.0	1.1	1.2	2.6	—	USA
カナダ	2.2	1.0	-0.3	1.8	0.3	0.9	7.9	—	CAN
イギリス	0.8	2.5	2.0	1.5	0.5	0.5	2.7	—	UK
ドイツ	1.6	2.3	0.5	1.8	0.0	0.4	0.4	0.9	DEU
フランス	0.9	1.3	0.8	2.1	0.4	0.4	0.4	-0.8	FRA
イタリア	0.4	2.3	0.1	0.6	-0.0	0.5	2.3	-1.3	ITA
オランダ	2.4	2.1	1.0	0.5	-0.3	-0.2	-1.1	2.2	NLD
ベルギー	1.5	1.5	1.5	-0.2	0.2	0.7	3.1	—	BEL
デンマーク	1.4	3.9	1.4	1.9	2.2	1.4	0.8	—	DNK
スウェーデン	2.8	3.5	2.9	0.9	0.3	2.4	0.3	—	SWE
フィンランド	1.9	3.5	0.8	2.5	-1.1	-0.2	0.1	—	FIN
ノルウェー	1.0	0.4	1.4	1.9	-0.5	-0.8	1.4	—	NOR
ロシア	5.2	3.5	-2.7	1.7	3.0	3.1	3.7	—	RUS
スペイン	0.4	2.5	0.8	0.9	-0.2	0.2	-0.3	-2.0	ESP
韓国	4.7	6.0	1.4	4.5	3.8	2.4	3.0	—	KOR
オーストラリア	0.3	1.7	2.5	1.1	e -0.1	e 1.2	e 1.1	—	AUS
ニュージーランド	-0.1	-0.9	2.5	0.2	2.3	-1.1	1.5	—	NZL

e) 推計値。

e) Estimated.

出典： OECD (<https://stats.oecd.org/>) 2022年8月現在

注： OECD Databaseでは、労働生産性を就業1時間当たりの国内総生産(GDP)と定義している。就業1時間当たりGDPは、GDP総額を就業者の年間総労働時間で除した数値である。本表は、就業1時間当たりGDPの対前年上昇率を表している。